



《写真》とちの実（栗ではありません。）

【飯豊山(いいでさん)】

「飯豊はいいで〜。」



と心から思えたのが2年前。

飯豊は、アルプスのほどの標高があるわけでもないのに、核心部まで入ると、そこに待っていたのは、



「大草原の稜線 」(と勝手に命名)

なのである。

さらに、飯豊にはたくさんのルートがあるが、そのどれもが長い。その中でも特に、2 年前に一緒に歩かせてもらった N べちゃん & K さん(お二人とも飯豊山の会に所属)から聞かされていた「ダイグラ尾根」にずっと魅了されていた。

ダイグラ尾根は、飯豊本山まで標準コースタイムで 10 時間以上。アップダウンも多く、しかし途中に小屋がないため、健脚向きルートとして知られている。

ここに 2 年前から狙いを定めていたのだが、やっぱり行くとなると不安がよぎるので…



準備から、気合入れます💪🍗

🎒とにかく軽量化(→40 リットルザックで決定)

久々に登場、コンプレッションバッグ。



→袋に物を詰め、ひもで縛りつけるだけで、中のものを圧縮するという至ってシンプルなものだが、これでかなりカサが減らせる。

→実際はシュラフと防寒着をこれに詰め、無理やり圧縮する。(→これでバレーボールくらいの大きさになるので、スグレモノ✨)

※しかし後日談。実際に山小屋で使った際、暗い中ではひもがこんがらがると、さあたいへん…💧

🍱食料

最近、常備食と化している煎餅もフルーツインゼリーも却下。行動食も菓子パンの数をギリギリにする。非常食はアルファ米＋真空カップ麺(→これはいつもどおり。)

食事もシンプルなものを2食のみ!!

①牛丼(お米1合＋レトルト牛丼の素)、サラダ、ハム、味噌汁の素

②広東風カレーメン(ラーメン＋もち2個＋レトルト中華丼の素)

💡Kさんとの電話

10月初旬の寒波で、稜線が初冠雪となったことを知る(積雪10cmとか!?)🌨️しかし、とにかく早立ちすれば大丈夫だからと応援をもらうが、歩ききれなければ無理せずにまた来なさい、とも諭される。。。でも、こういう現地の人との話でテンションは上がる!!👍👍

💡三太さんより

ダイグラ尾根を夜明け前に出発するならば、現地に前夜泊となるが、その際三太さんより、民宿「奥川入」を勧められる。

出発前日に予約の電話を入れると、女将さんから、「その日は息子の誕生日祝いをするので、一緒にケーキを食べて下さい🍰」と言われる。なんてアットホームな雰囲気なんだろうか!!🏠

初めてお邪魔する場所なのに、すでに遠くの友達を訪ねに行く気分で、またまたテンションが上がる👍👍👍

よしっ、出発 🚗👉

【10月8日(土) 移動日】

夕方、最寄駅の小国駅付近まで、民宿のご一家(おじいさん、おばあさん、次男坊)に迎えにきていただいた 🚗 (タイミング良く、高校生の長男くんの帰宅の迎えも兼ねてだったのだが。) これがなければ、バスを1時間以上も待つ必要があったので、たいへんありがたかった～ 🏠

民宿につき、部屋に案内された後、すぐに夕食の時間となった。囲炉裏のある大部屋で、先程のおじいさんと、もう一人の客人と話に花が咲く。

民宿のおじいさんが、数年前に石川県の加賀屋ホテル(=全国ホテルランキングで、数十年ナンバーワンの座を譲らないホテル)に宿泊したときに、とにかくスタッフのおもてなしと心遣いには感動した、と話していた。

他方、

「うちは民宿なんだから、派手なことはいできない。客はその家の者が食べるものを食べればいい。ご飯もみそ汁も勝手によそればいい。

しかし、それだけでは同業者には勝てない。だから精いっぱいのはず。



うちでは毎年 100 羽以上の鶏を飼い、この鶏は、今朝屠殺場でさばいたものだ。それを新鮮に保存するために、マイナス 30 度の冷凍庫も作った。卵もうちの鶏が産んだやつだ。山菜や川魚は採れたてのものばかり。」

ここの民宿の 9 割以上は常連客なので、大震災の影響で客足が少なくなることもなかった、と話していたのも納得。この雰囲気からそれがよく伝わってくるし、おれ自身またここに泊まりたいと思えた場所だった 😊

その頃、おばあさんは



まいたけを細かくし、弱りかけた部分を削っていた ✂ 細かくする前のまいたけは、人の頭くらいの大きさだったらしい!

同じ泊まり客からは、

「君は雪国まいたけしか知らんだろ？」

と言われたが(→はい、確かにそのとおり…😓) 夕食に出してもらった「まいたけのホイ
ル焼き」は、とても香ばしくて軟らかいまいたけでした～🍄

さらに産みたての生卵も登場🍳 ごはんをおかわりして、TKG!(卵かけごはん!!) もう満
腹😋👌

さらに夕食後は、予告どおり誕生日ケーキも出てきた🍰

事前に誕生日のことは聞いていたので、プレゼント📺(ミニ魔法瓶)を用意していったら、
長男くん、たいそう喜んでくれたよ～。ついでに次男くんの分も渡したら、こちらは照れ
臭そうにしてくれた。

そして、彼らからそのお返しに!!



なんと、落語を一席、設けてくれたのでありました!! しかも次男くんまで!!

小国出身の噺家、山遊亭金太郎氏に弟子入り(!?)したそうで、なかなか面白かった😊
二人ともありがとう🍷🍷

おじいさん、おばあさん、子供たちが寝に入ると、今度は旦那さん&女将さんと山の話。

飯豊は10月初旬の寒波により、稜線上は初冠雪。その時、低体温症で動けなくなった登山家から救助要請があり、山岳救助隊に入っている旦那さんは梅花皮小屋まで日帰りで往復したとのこと。(→ちなみに登山家は結局ヘリで救出された模様。)

その際に撮った積雪 30cm 🌨️ の画像も見せてもらう。雪の上には、足あとがくっきり 🦶

こういう話を聞かされると、かなり脅かされた気分になるが… 🤔

行くと決めたら、行きます!! 🦶

(つづく)



《写真 1》 9:30



《写真 2》 10:45



《写真 3》 12:50

【10 月 9 日(日)】

星空＝快晴!! 🌞

旦那さんに、天狗平(飯豊山荘付近のゲート)まで送っていただく🚗 これまたありがとうございます m(_ _)m

ゲートにて旦那さんから登山届を出すように言われるが、登山ポストには、山形県、新潟県、福島県の飯豊関係者が話し合った上で作成された、飯豊専用の登山届が置いてあった。飯豊の主要コースはすべて網羅され、また携帯電話の記入欄には、どこのキャリアかを書く欄まである。(→ソフトバンクだと、ほとんど電波は入らないけど…。)

少しでも事故発生からの対策を短くしようとする山岳救助隊の心意気が伝わってくる👍 その旦那さんとはここでお別れ。それでは行ってきます 🍷

5:25 天狗平、出発。



さて、ダイグラ尾根。標準コースタイムは10時間半。マタギの人たちは、8時間で歩くと
言われており、とりあえず8時間を目標にしてみる。

となれば、サボれない。ただそれだけを念頭に、行ってみよう!! 🧑🏫➡️

林道歩き。とにかく真っすぐ行け、と聞いていたので、温身平の分岐でも、他に細い道
があっても、とにかく真っすぐに歩いていると、

行き止まりになる…。

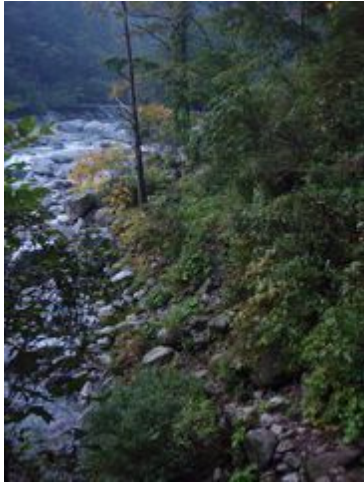
山菜採りにきた人のバイクが1台、取り残されているだけ。

あれ!? 🤖

しかし、行き止まりの藪の中にけもの道程度の道があり、これを頼りに歩くと、藪を抜
けて再び正規の登山道に復帰。

思い返してみれば、ずっとまっすぐ歩いていた林道の途中に、右に曲がる林道もあった
ような!? (ややうろ覚え。。。💧)

その後はしばらく、沢沿いのルート。



若干足元が滑りやすく不安になるが、この沢沿いも 15 分くらい歩くと、



6:20 吊り橋発見!! よしっ、つかみはオッケー👏

ここから急な登りが始まるが、



出だしは快調。レインウェアを脱ぐ以外は、休まずに歩いた👍

そして、ダイグラ尾根で唯一の水場とされる



長坂清水。(7:35)

普段なら水場の状況を偵察しに行くところだが、沢までかなり下るようなので、偵察中止。先を急ぐ。(→しいて言えば、下り用のロープが垂れ下がっていたので、滑りやすい下りが続くのかも!?)

急登の中腹あたりから、樹林帯と、視界の開けた場所が交互に出てくる。右側には明日歩くはずの梅花皮岳やら、北股岳やらの稜線が見え、テンションが上がり👉

そして、

8:20、広々とした場所に出た。ここが休場ノ峰。
(→特に標識が立っているわけではない。)

ここから、ダイグラ尾根の、



これから進むべき道がよくわかる。確かにピークがたくさん＝アップダウンがたくさん…
↓

ここで、朝食にする🍷🍷 実は珍しく朝から何も食べていない。というのも、前日の夕食は豪勢でかなりのボリュームだったし、最後の卵かけごはんとかケーキにより、かなり胃はパンチをくらっていたのだ…😓

しかし、さすがに3時間は歩き続け、身体は食べ物を求めている。そこで奥川入の奥様お手製の弁当を広げると🍱



おにぎり、でかつ💡 (手のひらサイズが2つも!!💡)

しかし、炊き込みご飯でまだほんのり温かい。おかずもやさしい味。デザートつき(プラム)🍑 天気も良くて、見晴らしもよくて、サイコー👍

結局、のんびり休憩を決め込み、このお弁当もぺろりと平らげてしまったが、やはり胃にはまたまたパンチが効き🍷、この後、小屋までは何も食べずに済んだのでありました🍷

8:50 再出発。

ここからは、急な登りがなくなるが、噂のアップダウン。



とにかく登ろうが下ろうが、前進あるのみ。

と言いつつ、途中、中だるみもしてくるので…👇👇👇

そんなときは、ロンかきよぽん(もしくはその両方)に後ろから追いやられ、プレッシャーをかけられている気分をイメージする。

※ロンは、「サクサク行こう」が口癖で、本当にサクサク歩いてしまう人。

※きよぽんは、愛しの高山植物のためなら、日帰りでアルプスを往復してしまう人。

この二人の背後霊(!?)のおかげで、なんとか気力をつなぎました👊👊👊👊

その後、宝珠山の肩から、宝珠山までは、偽ピークにやられる。

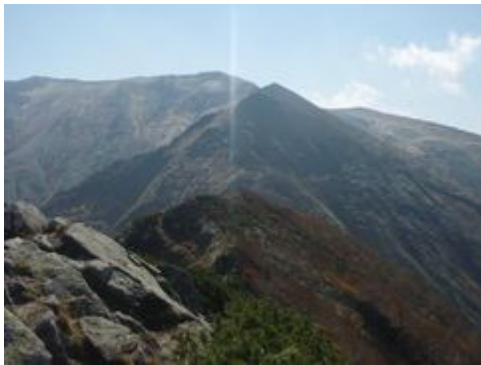


このとおり、ピークの連続。

結局、どれが本物の宝珠山だったのかはわからなかったが、連続する最後のピークが岩稜帯で座りやすそうだったので(→ここを勝手に宝珠山と決めつける)、ここで休憩。のんびり。空が近い。(11:15-11:30)



これまで歩いてきた方向を振り返る。



これから進むべきはこちら!!

目の前の小ピークを越えた先が、本山のはず。あともう一息、という所まで来ているはずだが、それでも順調なのかどうなのか不安が残り、ここからも気を引き締めていくしかない🤔

ところで、ここダイグラ尾根は下山ルートとしても使われており、数名の登山客に出会ったが、この付近ですれ違った登山客は、なんと今朝 5 時出発で、日帰りでダイグラ尾根を歩くつもりだとのこと。お疲れ様でございます。。。

でもその人に言ってもらえた、「あともう少しだから」という励ましには説得力があり、再度気分を立て直す👉👉👉

本山の手前の小ピークでは、ピークが巻かれ、緩やかな斜面だったが、その巻き道を右側からぐるっと回りこんだところで、



とても小さく、しかしはっきりと、「飯豊本山」の標識が見えた💡 山頂付近には数名の登山客が動いているのも見える💡💡 これで急に元気になる。あとちょっと!!👉

👉👉👉

👉👉👉👉👉

12:55 着いたー!!🥳



飯豊本山。

もちろん快晴。そこは、360 度のパノラマ 🍷



本日歩いたダイグラ尾根!!



2 年前に歩いてきた本山小屋方面!!

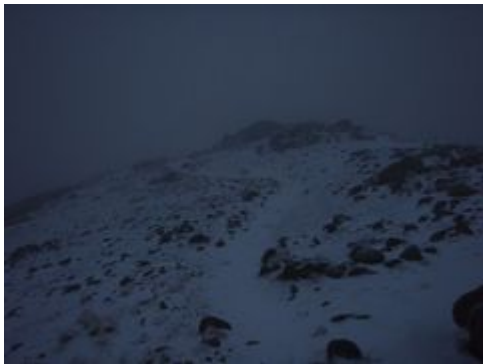


これから歩く御西小屋方面!!

ダイグラ尾根を無事に歩き切ったことも嬉しいが、ここからの稜線もたまらない。飯豊独特の、大草原のような稜線。

本山から御西小屋まで1時間強あるが、疲れ知らずでウキウキで歩く。心配していた積雪もほとんど残っておらず(あっても登山客の足跡がついていて、問題なく歩ける)、快適。

ちなみに2年前は



今年は



やったね👍

あとは勢いに乗って、



14:15 御西小屋、到着!!👍

【🏠御西小屋情報】

- ★定員 40 名。きれい。
- ★水場までは片道 5 分下る。この時期も普通に流れていた。
- ★トイレは小屋の外にあり、2 つ星(→鍵がかからない…🔑)

小屋内に入ると、1 階はすでに 5～6 名が場所をとっていたので、2 階に一番乗り(→この日は結局、1 階に約 10 名、2 階には 15 名程度が宿泊。ぎゅうぎゅう詰めでもなかったし、とても温かかった👍)。

ここにザックを置き、水を汲み、腹ごしらえをし、夕食の準備でお米を鍋に入れて水に浸したところで💡

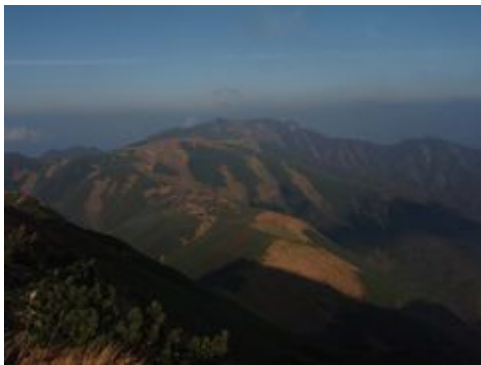


飯豊連峰最高峰、主稜線からははずれていても、雄大に聳え立っている大日岳へ 🍗

予定では翌朝に登るつもりだったが、明日の天気もわからないし、早起きするよりは今行っちゃえ、という気分だった 🤔 ただし、日没の時間も気になったので、若干急ぎ足で GO!! 🏃🏃🏃



15:45 大日岳



山頂より、御西小屋方面を眺める。遠方は本山!!

大日岳からも、さらに西へ南へと稜線が延びており、飯豊の奥深さを感じさせる。しかし、急に風が強くなり始めたので、のんびりもせず、いそいそと下山。御西小屋に戻る。

これにて本日の日程は終わり。

ああ、自・己・満・足 🍷

5:25 天狗平

6:20 吊り橋

7:00-7:05 小休憩

7:35 長坂清水

8:20-8:50 休場ノ峰（朝食）

9:30 千本峰

10:55 宝珠山の肩

11:15-11:30 宝珠山

12:55-13:10 飯豊本山 🏔️

14:15 御西小屋

14:45 御西小屋

15:45-15:50 大日岳 🏔️

16:45 御西小屋

夕方から一気にガスが立ち込める。明日の天気が心配…!?

つづく。



《写真》 10 月の稜線

【10 月 10 日(月)】

目が覚めると、外はガス。昨日大日岳を登っておいてよかった、と思いつつ、ややのんびりと朝食🍳&出発の支度を整える🎒

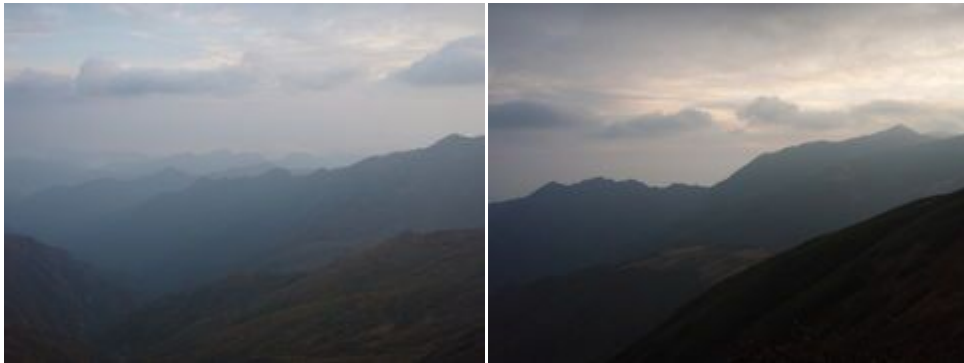
しかし 5:30 に外に出てみると、ガスもなく、東の空には朝焼けが始まった。御西小屋からだと御来光は立地的に見れないようで、すぐそばの御西岳まで登れば見れそうだが、おそらくこの日は御来光が雲に隠れていたようであり、残念。(ちなみに、この時期の日の出は 5:44💡)

天気予報では午後から崩れると言われており、なんとか晴れてはいるが、稜線上は朝から風が強い。この日も見晴らしの良いうちに、急ぎ足で出発!! 🏃👉



御西小屋より、まずは本日歩くルートを遠くまで見渡せる。

とにかく今日は、気持ちのよい稜線歩き～👍



東側には、昨日歩いたダイグラ尾根もよくわかる。
(→すみません、画像がうまくつなげられなくて…m(_ _)m)

確かに他の尾根に比べれば非常に長く、ボコボコした形の尾根。別名、「のこぎり尾根」と言われるのも納得。昨日は無事に歩いて本当によかった。



天狗の庭

そして、この稜線上で楽しみにしていたのが、紅葉 🌟

だったのだが…。



うーん…😞

今年は9月に温かい日が続き、紅葉は遅いと聞いていたが、10月初旬の寒波と初冠雪のせいで、紅葉は一気に終わってしまった模様。。。(他の登山客の話のよれば、紅葉で有名な北アルプス涸沢も、今年はパツとしないまま、紅葉が終わってしまったらしい。。。)

期待した草紅葉も、すでに薄茶色(白髪のような茶色!?)。どうも生き生きしていない草たちは、先週の積雪のせいか、強風のせいか、すでに薙ぎ倒されていた。👇👇👇🌲

ちなみに、10月初旬の初冠雪時に、救助活動を行った人たちが、以下の報告をまとめていました。(すみません、「飯豊朝日連峰の登山者情報」サイトより勝手に転載 m(_ _)m)

<http://www.iideasahi.jp/1491.html>

事故の内容もそうだが、このサイトに出てくる画像に注目 🍁

おれが見たい紅葉🌟の色はこれなんだよな～。しかもこの日は雪景色の中に紅葉が映えているし🌟🌟🌟🌟 (他方、おれが見たもみじは、しょぼしょぼで、よれよれの茶色ばかり…😞) 飯豊の紅葉狙いは難しい。やはり9月最終週～10月初旬狙いか!?!?😞

(救助隊の皆様、寒い中お疲れ様でした。)

さて、紅葉はひとまずおいておき、本日は稜線歩きが長〜く続くが、



7:40 烏帽子岳。



天気も晴れ出し、気分も上昇。

8:20、本日最初の小屋を発見。



【🏠梅花皮小屋】

★きれい。

★小屋番さんがいることが多いらしい。

★トイレは小屋内にあり、普通に TOTO の水洗だった。5 つ星 ✨

せっかくなので、小屋内で休憩。きれい。小屋内には小さな鏡もあり、久々に自分の顔を見たが、髪はボッサボサだった😓

小屋の外には、石転び沢の分岐があるが、沢の様子は、北股岳へ登る途中からの方がよく見えた



石転び沢。いつかはここも登ってみたいような…😓



8:55 北股岳山頂にて。

そして 9:50、次の小屋に到着。

【🏠門内小屋】

★中に入ると、風の音がかなり響く。

(→となると、他の小屋の方が作りはしっかりしているのかな!?)

★トイレは別棟だが、バイオトイレ!! 4つ星。

ちょうど小屋番 2 人が小屋閉めをしているところで、地元の 2 つの山岳会が交替で小屋の管理を行っていること等を教えてくれた。

ここで昼食。パンと温かいコーヒーでエネルギー補給 🍞☕👉

さて、この日もそれほど他の登山客と出会わなかったが、逆に会った登山客は猛者ぞろい。特に印象的だったのがこの二人。

①日帰りで、天狗平～梶川尾根～飯豊本山～川入まで、一日で歩くおっちゃん。

⇒4 時に出発したそうで、この人とは 9 時に北股岳で出会った。最悪の場合は三國小屋で一泊すると話していたが、それにしても笑顔がよく、話し好きのおっちゃんだった。無事に歩き切ってほしいな。

②日帰りで丸森尾根を登り、梶川尾根を下りるおばちゃん。

⇒この人は、残雪期や藪ルートの飯豊も歩きまわるそうで、今日はトレーニングがてら歩きにきたとのこと。家が近いからできるのよ、と話していたが、いや、そういう問題では…😓

この二人とは、地図を広げながら、10 分以上は立ち止まって話したけど、そのくらい飯豊を熱く語れる人たちで、飯豊も愛されてるなあ、なんて思ったり💖



10:35 扇ノ地紙より、地神山方面。

そして 11:20、ついに来てしまった地神山北峰。

悲しきかな、ここから下山。結局今回も、杵差方面はあきらめてしまうことに。。。

いつかまた来なくては、と思い、最後のピークを満喫する。そうこうするうちに、ガスも出てきそうな雰囲気なので、下山!!



地神山北峰から見下ろした丸森尾根。

下山は悲しいけれど。。



紅葉地帯に入ってから丸森尾根は、

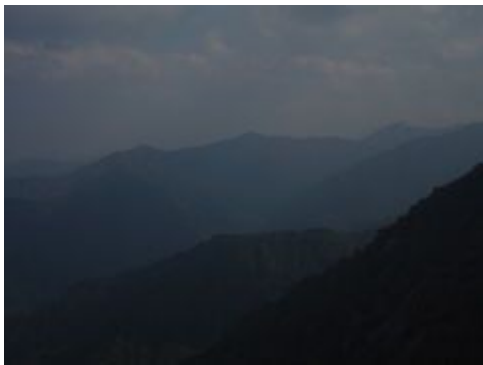


色とりどりの下山道で、色鮮やかだった～🌟

途中、所々で視界が開け、



梶川尾根を見る。こちらの尾根も紅葉🌟
(→天気がよければ、もっと色が映えたはず!?)



昨日歩いたダイグラ尾根。さようなら～👋

そして再び、下山。





最後まで楽しめた丸森尾根でした🌟（急だったけどね😓）

5:50 御西小屋

6:50-6:55 御手洗ノ池

7:40-7:45 烏帽子岳

8:20-8:35 梅花皮小屋

8:55-9:10 北股岳

9:50-10:15 門内小屋（昼食🍱）

10:35 扇ノ地神

11:10 地神山

11:20-11:30 地神山北峰

11:55 丸森峰

12:55-13:10 夫婦清水

14:15 天狗平

下山後、民宿奥川入の旦那さんに連絡させてもらい、車の送迎をお願いした。天狗平～飯豊梅花皮荘まで、この時期はバスがないため、旦那さんから遠慮なく電話をよこしなさい、と言われていたのだ。本当にありがたいです😭

【🔥飯豊梅花皮荘】

★¥500

★露天なし。

★カメムシが多く、内湯の窓は開放厳禁!!

帰りは、バスや電車の接続が非常に悪く…、米沢駅では思わず途中下車。そして、せっかくなので、食べてしまいました。



米沢牛いも煮セット

米沢牛は、脂身が少なく、でも甘かったような…。(→でも、たぶん肉の良さが、そこまでわからなかったかも😭👉)

いも煮は山形県の郷土料理として知られ、鍋の中にはサトイモがたっぷり入っていました😋

次に飯豊に来れるのがいつになるかはわからないけれど、いずれまた飯豊に来る機会を作りたい。杣差も、噂の石転び沢も待ってるしね!!

おしまい。

